

tv asahi

テレビ朝日ホールディングス

第86期 中間報告書

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日



証券コード：9409

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第86期の中間報告書をお届けします。

当中間期(2025年4月1日から2025年9月30日まで)は、好調な視聴率を背景に広告収入が堅調に推移したことなどから、連結売上高1,655億6千3百万円(前年同期比+7.6%)、営業利益145億6千9百万円(同+140.9%)と大幅な増収増益となりました。

本年度は経営計画「BREAKOUT STATION！新しい時代のテレビ朝日 経営計画2023-2025」の最終年度です。計画で掲げた「定量目標」の達成も視野に入る中、引き続き様々なチャレンジをおこなっています。

テレビ放送事業では、視聴率が堅調な推移となりました。上期の個人全体視聴率は全日帯(6~24時)3.3%、プライム帯(19~23時)4.9%の2冠、世帯視聴率は全日帯(6~24時)6.1%、ゴールデン帯(19~22時)8.3%、プライム帯(19~23時)8.5%の民放3冠を獲得することができました。

インターネット事業では、インターネットテレビ局「ABEMA」、定額制動画配信サービス「TELASA」、広告付き無料動画配信サービス「TVer」、動画広告配信プラットフォームを運用する「UltraImpression(ウルトラインプレッション)」など、多面的な展開をおこなっています。TVerの動画再生数や広告収入増が業績を牽引し、大幅な増収増益となりました。

メディアシティでは、東京ベイエリアの中心地

である有明に複合型エンタテインメント施設「TOKYO DREAM PARK(東京ドリームパーク)」の建設を進めており、来年3月27日に開業します。開局から現在まで60年以上にわたり蓄積してきたテレビ朝日のあらゆる“ノウハウ”を集結させて、新しいエンタテインメント・賑わい・イノベーションを創出してまいりますのでご期待ください。

メディア激変の影響により中期的なテレビ広告市況は厳しい先行きとなることが懸念される一方で、コンテンツ・IPの展開先が増える今、当社グループが保有するコンテンツ・IPの重要性はこれまで以上に高まりをみせています。こうした状況に適切に対応し、継続的に企業価値の向上を図っていくため、現在、「新・経営計画」の策定に着手しています。新しい時代のテレビ朝日へと着実に進化を遂げ、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

2025年12月

代表取締役会長

早 沢 洋





「ABEMA」2016年の開局から10周年へ 週間視聴者は最大約3000万人規模に成長

新しい未来のテレビ「ABEMA(アベマ)」は、株式会社サイバーエージェントとの協業で展開するインターネット動画配信サービスです。テレビ朝日報道局が制作を担当している24時間ニュース専門チャンネル「ABEMA NEWS」は、朝・昼・夕・夜のペルト番組をはじめ、速報や緊急会見などをお伝えしています。開局10周年を目前に控える中、1週間あたりの利用者は最大で約3000万人規模となるなど、多くの方にご視聴いただいている。これからもテレビのイノベーションを目標に、チャレンジを続けてまいります。本特集では、「ABEMA NEWS」の強みや実績についてお知らせします。



速報 大分の住宅密集地で大規模火災 ABEMA news/



▲2025年11月18日
大分市佐賀関の大規模火災 現地映像LIVE



▲2025年7月30日 太平洋沿岸に津波警報
気象庁会見ノーカット中継

2

「何かあったらABEMA」 被災地・被災者に向けた災害報道を目指して



24 HOURS / 365 DAYS /



◀「ABEMA」へのアクセスはこちら

私たちが最も重視しているのは災害報道です。その原点は「ABEMA」がサービスを始めて数日後に起きた熊本地震(2016年4月)でした。「被災者の一人称」にこだわり、「いま必要な物資・情報」を現場から伝えた取材は、大きな反響がありました。2019年の台風15号被害では、支援が届いていなかった地域からの「報道して」というSNS投稿を起点に取材するなど、インターネットの双方向性を活用することで「テレビとは違う災害報道」を実現してきました。こうした積み重ねの中で、「何かあったらすぐABEMA」をコンセプトに掲げ、いつでもどこでもつながる情報インフラを目指してきました。また、2024年の能登半島地震では発災から24時間にわたり、報道を続けました。現地からの最新情報や気象庁会見のノーカット中継だけではなく、テレビ朝日の武器であるANN系列各局との連携によって、ローカル特番のサイマル放送(地上波の同時配信)なども実施しました。

視聴者からは「ABEMAを見ながら逃げよう」「停電でテレビが見られないから助かる」といった「ABEMAならではの価値」を見出す声を寄せていただきました。これからも24時間365日、いつ起きるかわからない災害に備え、メディアとしての役割を果たしてまいります。

報道局クロスマディアセンター 郭 晃彰 チーフプロデューサー



AIとインターネットの力でより分かりやすい報道を

「ABEMA NEWS」では、テレビ朝日技術局のテクニカル・ラボが開発した「AIサマ(アイサマ)」を導入しています。「AIサマ」は、記者会見などのコメントをリアルタイムでテロップ化するほか、発言内容を要約・サマリーした上で、見出しのテロップを自動でつけるシステムです。日本語だけでなく、英語と中国語にも対応しており、日米・米中首脳会談など、同時通訳者なしでは難しかった国際イベントの生中継を実現しました。

速報！ワンタッチくん

プレスリリース画像から音声付きニュース動画を生成

画像アップロード・設定

+ プレスリリース画像
+ 画像を追加

「画像を追加」ボタンで画像をアップロードしてください

Q 画像の読み取り開始

LIVE 自民・維新が連立樹立 共同会見



字幕 & サマリー
AIサマが生成中

言っていたいてもいいのかなというぐらいの上に重たいのが入っていると思うのですが、これをぜひ実現していきたいと思います。(はい。ありがとうございます。その他ございましたら挙手)

AIサマが生成した字幕

◀「速報！ワンタッチ君」 リリース情報を数分で映像化！

また、サイバーエージェント社の協力を得て、政府や企業などのプレスリリースをたった数分で動画化する「速報！ワンタッチ君」も開発しました。これからもAIを中心に、新しいテクノロジーを活用することで、より便利で、よりわかりやすい報道を目指します。

技術局技術運用センター 藤原 賢治



「わたしとニュース～そのモヤモヤ、話せば世界が晴れるかも。～」はじめました！

2025年11月より、平日火曜から金曜の正午に新番組「わたしとニュース～そのモヤモヤ、話せば世界が晴れるかも。～」の放送を開始しました。初回は元参議院議員の田嶋陽子さんをゲストに、高市早苗総理の外交手腕などについてお話を聞きました。この番組では家事、子育て、働き方、人間関係など、日常でふと感じるモヤモヤを「私だけかな？」で終わらせらず、誰かと話し合うことで、そこに潜む社会や政治の構造をひもときます。出産や育児、家族のケアなどを経験した女性アナウンサーたちを中心に、テレビよりも少しだけカジュアルな空間・言葉でニュースをお伝えしています。身近な思いを率直に語り合い、「なるほど！」という発見につなげる新感覚の共感型ニュース番組をぜひご覧ください。

報道局クロスマディアセンター 溝上 由夏 プロデューサー



「わたしとニュース
～そのモヤモヤ、話せば世界が晴れるかも。～」
【毎週火曜～金曜】12:00～

テレ朝NEWSを全面リニューアル



▲ロゴやデザインを
ネイビー基調に一新



▲ニュースの流れを
時系列で追える新機能
「タイムラインまとめ」

テレビ朝日のニュースサイト「テレ朝NEWS」は、2025年7月に全面リニューアルしました。

新コンセプトは「●REC記録し続ける」。1日に約300本の記事を公開していますが、今後さらに増やしていく予定です。

このうち重大なニュースは新機能「タイムラインまとめ」で出来事の流れを時系列で追えるようになりました。

ロゴやデザインも一新。ネイビー基調の見やすい画面になりました。PV数・サイト訪問者数はともにリニューアル前から大きく増えています。

「テレ朝NEWS」へのアクセスはこちら▶



各地で相次ぐクマ被害をマップ化



【クマ被害】地図で見る全国各地の熊の出没地点まとめへのアクセスはこちら▼



ニュースを空間的な広がりでも把握できるよう「テレ朝NEWS」はこれまで東日本大震災や能登半島地震など大災害のニュースをマップ化してきました。2025年は日本各地でクマ被害が深刻化しました。クマ関連のニュースを発生月別にマッピングすることで「いつ、どこで、どんな被害」があったのかを可視化しました。この地図が地域の人々に寄り添い、被害を少しでも食い止める一助になればと考えています。インバウンドの観光客向けに、英語版も展開し、必要な情報が必要としている人たちに届くよう工夫しています。

報道局クロスマディアセンター
兼インターネット戦略局データソリューションセンター
佐藤 俊輔 プロデューサー



TELASA 5周年 会員200万人突破

有料動画配信サービス「TELASA」は、2020年のサービス開始以来、会員数200万人を突破しました。2025年3月のリニューアル以降では、テレビ朝日ドラマ・バラエティのオリジナル強化に加え、「2025 MAMA AWARDS」や「M-1グランプリ2025」大反省会(12月21日配信)などライブ配信の拡充にも取り組み、サービスの魅力向上を図っています。

TELASAへのアクセスはこちら▶

M-1
グランプリ
2025

©M-1 GRANDPRIX.



◆ 連結業績ハイライト

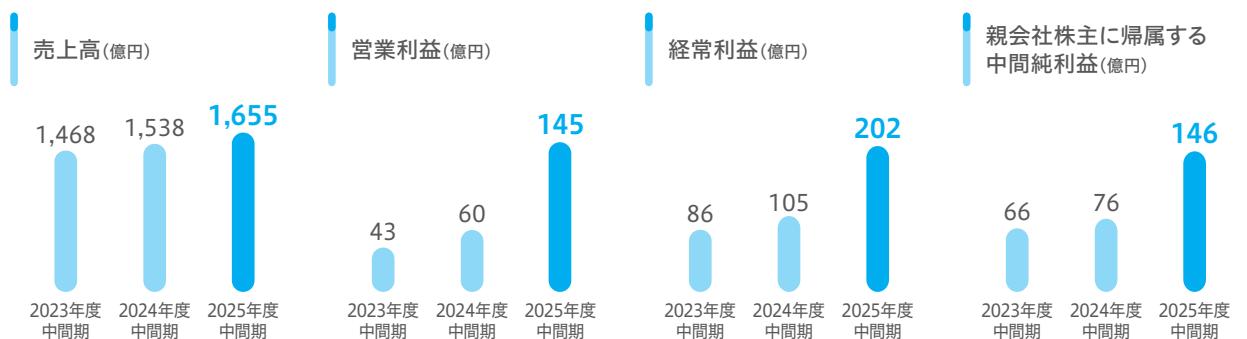
視聴率は個人全体で2冠、世帯で民放3冠を達成！

好調な視聴率を背景に、大幅な增收増益を実現！

当中間期の日本経済は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復しています。

このような経済環境の中、当中間連結会計期間の売上高は1,655億6千3百万円(前年同期比+7.6%)となり、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,509億9千3百万円(同+2.2%)となりました結果、営業利益は145億6千9百万円(同+140.9%)となりました。また、経常利益は202億9千7百万円(同+92.5%)、親会社株主に帰属する中間純利益は146億5千7百万円(同+90.4%)となりました。

		2023年度		2024年度		2025年度	
		中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期(予想)
売上高	(億円)	1,468	3,078	1,538	3,240	1,655	3,360
営業利益	(億円)	43	123	60	197	145	240
経常利益	(億円)	86	199	105	285	202	320
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益(億円)		66	171	76	258	146	280
総資産	(億円)	4,990	5,204	5,329	5,595	5,601	—
純資産	(億円)	4,049	4,235	4,341	4,478	4,576	—
営業活動によるキャッシュ・フロー(億円)		117	191	148	265	113	—
投資活動によるキャッシュ・フロー(億円)		△183	△217	△274	△325	△129	—
財務活動によるキャッシュ・フロー(億円)		△33	△58	△45	△71	△76	—
1株当たり配当金(円)		中間20	期末40/通期60	中間20	期末40/通期60	中間30	期末30/通期60
配当性向(%)		—	35.6	—	23.6	—	21.6



ホームページの
ご案内



テレビ朝日 IR

検索

<https://www.tv-asahihd.co.jp/IR/>

当社IRサイトでは、決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料、統合報告書など、株主・投資家の皆様のための情報をご覧いただけます。



テレビ放送事業

売上高

1,224億円 (前年同期比9.9%増)


2025年度上期の平均視聴率は、全日視聴率(6時～24時)では個人全体3.3%で1位、世帯6.1%で1位、ゴールデンタイム(19時～22時)は個人全体4.8%で2位、世帯では8.3%で民放1位、プライムタイム(19時～23時)では個人全体4.9%で1位、世帯8.5%で1位となりました。

報道・情報番組では、「グッド！モーニング」「羽鳥慎一モーニングショー」「大下容子ワイド！スクランブル」「報道ステーション」などの番組が高視聴率となりました。また、週末の「サタデーステーション」「有働Times」なども堅調に推移しました。

バラエティでは、月曜の「帰れマンデー見つけ隊!!」「Qさま!!」、週末の「ザワつく！金曜日」「ポツンと一軒家」などが好調に推移しました。

連続ドラマでは、4月クールの水曜21時「特捜9 final season」が全話平均個人全体4.5%、世帯8.1%を記録し、4月クール民放連続ドラマ2位となりました。7月クールの水曜21時「大追跡～警視庁SSBC強行犯係～」は全話平均個人全体4.7%、世帯8.5%で、7月クール民放連続ドラマ2位と堅調に推移しました。

スポーツでは、6月に行われた「サッカーW杯アジア地区最終予選 日本×インドネシア」が個人全体7.7%、世帯12.4%

を記録し、同時間帯トップとなる高視聴率を獲得しました。8月に行われた「FIBAバスケットボールアジアカップ2025」ではグループステージを中継しました。イラン戦では、個人全体4.4%で同時間帯トップ、世帯7.3%で同時間帯2位を獲得しました。

タイム収入は、良好な企業業績と底堅い経済環境が下支えとなり、売上の基盤となるレギュラー番組のセールスは増収となりました。単発番組につきましては、「世界水泳シンガポール2025」「FIBAアジアカップ2025」「MLBオールスターゲーム2025」「世界フィギュアスケート国別対抗戦2025」などの大型スポーツ番組のセールスが堅調に推移したこと、前年の「パリオリンピック」の反動による減収を最小限に留めることができました。以上の結果、タイム収入は400億6千5百万円(前年同期比+2.5%)となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が前年同期並みの中、視聴率が好調に推移していることなどから大幅な増収となりました。業種別では、「情報・通信」「薬品・医療用品」「交通・レジャー」「食品」「外食・各種サービス」など、多くの業種で増収となりました。以上の結果、スポット収入は519億4千3百万円(同+24.1%)となりました。



「有働Times」



「特捜9 final season」



「ポツンと一軒家」



インターネット事業

売上高 **170億円** (前年同期比 **22.6%増**)

営業利益 **23億円** (前年同期比**120.4%増**)



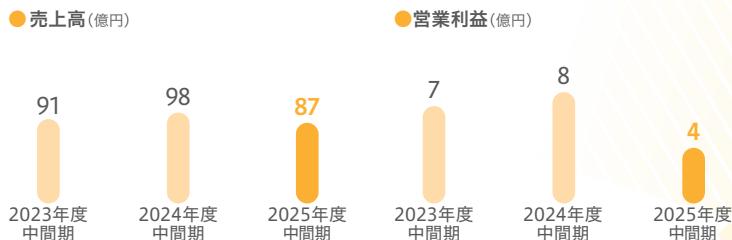
無料見逃し動画配信サービス「TVer」等における広告収入が好調に推移したことやKDDI株式会社との共同事業として動画配信サービスを提供している「TELASA」や他社動画配信プラットフォーム向けのコンテンツ販売が順調に増加したことなどにより、インターネット事業は增收増益となりました。



ショッピング事業

売上高 **87億円** (前年同期比 **10.8%減**)

営業利益 **4億円** (前年同期比 **40.9%減**)



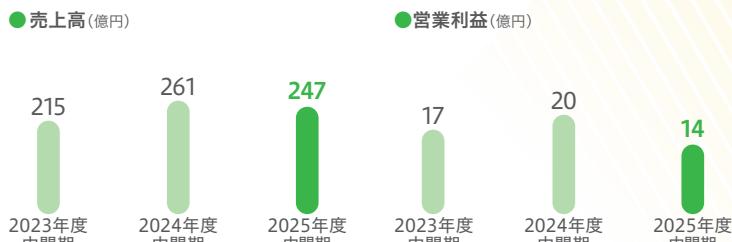
通販番組における売上が低調に推移したことなどにより、ショッピング事業は減収減益となりました。



その他事業

売上高 **247億円** (前年同期比 **5.2%減**)

営業利益 **14億円** (前年同期比 **30.5%減**)



出資映画事業は增收となった一方、音楽出版事業は前年同期に開催した「ケツメイシ」のコンサートツアーの反動などにより減収となったほか、イベント事業は前年同期に開催した「テレビ朝日ドリームフェスティバル」「The Performance」の反動などにより減収となりました。その結果、その他事業については減収減益となりました。

株主様向け優待制度のご紹介

ショッピング事業割引 ※1株以上保有の株主様

- ショッピング事業対象商品(テレビショッピング販売商品)の一部割引

長期保有株主様向け優待 ※500株以上を2年以上継続して保有する株主様

- 特製QUOカード(額面1,000円)またはオリジナルグッズまたは社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団への寄付

施設見学・番組観覧

- テレビ朝日本社ビル施設の見学会(3月末時点で100株以上保有の株主様)
- 「題名のない音楽会」収録見学(3月末時点で100株以上保有の株主様)
- 「ミュージックステーション SUPER LIVE」観覧(9月末時点で100株以上保有の株主様)

「株主様向け優待制度のご紹介ページ」:<https://www.tv-asahihd.co.jp/yuutai/> 「株主様向け優待制度のご紹介ページ」へのアクセスはこちら▶



株主様向け優待制度による寄付実績のご報告

2025年度の株主様向け優待において、「社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団への寄付」に多くの株主様からご賛同をいただき、2025年9月30日に総額100,000円を寄付いたしました。ご協力いただいた株主の皆様に心より御礼申し上げます。



株主様向け「テレビショッピング販売商品」特別優待価格でのご提供のご案内

テレビ朝日グループで通販事業を担当する株式会社ロッピングライフの商品の中から、株主様を対象に、厳選いたしました商品を特別優待価格でご提供しております。

ご送付のパンフレットに記載の専用ホームページをご覧いただき、ご希望の商品がございましたら、パンフレットおよび専用ホームページに記載の「通話料無料 ご注文専用番号」にお電話ください。

※ホームページでは、パンフレット掲載商品の内容をさらに詳しくご紹介しております。

ホームページの商品説明を印刷して、お手許にお送りすることもできますので、下記「通話料無料 お問合せ専用番号」にお気軽にお電話ください。

お問合せ先

株式会社テレビ朝日ホールディングス
株主様ご優待 通話料無料 お問合せ専用番号

0120-532-510

10時~18時
※日曜・祝日・12/30~1/3は除く

会社情報／株式情報 (2025年9月30日現在)

会社の概要

商 号	株式会社 テレビ朝日ホールディングス (TV Asahi Holdings Corporation)
設 立	1957年11月1日
資 本 金	367億2,180万円
本 店 所 在 地	〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号
事 業 内 容	株式等の保有を通じて企業グループの統括・運営等を行う認定放送持株会社

役員 (2025年9月30日現在)

代表取締役会長	早河 洋	取締役	田中 早苗
代表取締役社長	篠塚 浩	取締役	角田 克
取締役副社長	西 新	取締役(監査等委員)	長田 明
取締役	角南 源五	取締役(監査等委員)	池田 克彦
取締役	板橋 順二	取締役(監査等委員)	樋口 美雄
取締役	新堀 仁子	取締役(監査等委員)	藤重 貞慶
取締役	多田 憲之	取締役(監査等委員)	芳仲 美恵子

(注) 多田 憲之、田中 早苗、角田 克、池田 克彦、樋口 美雄、藤重 貞慶、芳仲 美恵子の各氏は、社外取締役であります。

株式状況

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
300,000,000株	108,529,000株	21,043名

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
株式会社朝日新聞社	21,151,840	20.21
東映株式会社	18,522,900	17.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,177,900	6.86
公益財団法人香雪美術館	5,030,000	4.80
KBCグループホールディングス株式会社	3,333,500	3.18
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,011,044	2.87
公益財団法人朝日新聞文化財団	2,297,100	2.19
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,863,400	1.78
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	1,575,900	1.50
朝日放送グループホールディングス株式会社	1,572,000	1.50

(注)持株比率は、自己株式(3,895,022株)を控除して計算しております。また、小数第二位未満を切り捨てて表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 每年3月31日 中間配当 每年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 受付時間 9:00～17:00(土日祝日および12/31～1/3を除く)
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.tv-asahihd.co.jp ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所
	当社の定款には次の規定があります。 定款第10条
外国人等の株主名簿への記載または 記録の制限	本会社は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1ないし3の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②本会社は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。

